

問題文

抗不整脈薬投与患者で低血糖の症例をしばしば経験した薬剤師が、自施設の患者における抗不整脈薬の服用と低血糖の発症との関連性を調査した。

低血糖発症患者(n=90)と、年齢及び性別でマッチングした低血糖非発症患者(n=450)を選択して、過去1年間のカルテを調査した。対象患者における抗不整脈薬A、B、Cの処方の有無を調査した結果を表に示す。

次の記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

表 抗不整脈薬を処方された患者数		
抗不整脈薬	低血糖発症	
	あり (n = 90)	なし (n = 450)
A	5	25
B	3	21
C	10	6

- 1. この調査はコホート研究に分類される。
- 2. この調査は介入研究に分類される。
- 3. A非服用者を対照とした場合、A服用者の低血糖発症のオッズ比は1である。
- 4. 低血糖の発症リスクはB非服用者より、B服用者の方が高い。
- 5. 低血糖の発症リスクはCの方が他の2剤に比べて高い。

解答

3, 5

解説

選択肢 1 ですが
コホート研究（要因・対照研究）は 前向き研究の一種です。 本問の調査は、後ろ向き研究の一種です。 よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが
介入研究とは、 疾病と因果関係があると考えられる要因に 積極的に介入する研究です。 例えば 解毒剤を投与した群と、そうでない群の 有病率を調べるといった研究になります。 本問の調査では介入は見られません。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。
Aあり・・・a=5、b=8 5、Aなし・・・c=2 5、d=4 2 5 という表を考えて オッズ比である ad/bc を考えると、ちょうど1 です。

選択肢 4 ですが
B服用者の低血糖発症リスクは $3/90 = 1/30$ （約分しました。） = $5/150$ です。（後のために、分母を150 にしています。）

一方、B「非」服用者の低血糖発症リスクは $21/450 = 7/150$ です。 よって B「非」服用者の方がリスクが高いと 考えられます。 よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。
n = 90 に対して、最も多い 10 が 発症しています。

以上より、正解は 3,5 です。
衛生まとめ 、 、